

**NHK for School**

**活用プロジェクト**



**D-Projectは  
メディア創造力の育成を目指します**

プロジェクトメンバー間で、メディア創造力育成に向けた学習サイクルの中に学校放送番組を活用することを模索してきた。GIGAスクール構想の実現を受け、今後、学校放送番組も一斉視聴のみではなく、グループや個別での視聴も増えていくと考える。本稿では、代表的な事例を3つ取り上げるとともに特別支援教育に携わる教員を対象とした教員研修についても取り上げる。

### 1.進捗状況に応じた選択視聴

### 2.算数科におけるメディアリテラシー教育

### 3.視点の切り替えのための視聴

### 4.教員研修



# タイトル：進捗状況に応じた選択視聴

教科／学年：総合的な学習の時間／3・4年複式

単元名：金沢町家の新たな活用方法を提案しよう

## 育成するメディア創造力

- ・相手や目的に応じて、図表や写真などの表現手段を選択することができる。【C-2 Lv2】
- ・自他の考えを組み合わせながら、集団として1つの考えにまとめることができる【D-1 Lv3】
- ・相手の反応を受けて、次の活動にどのように活かそうかと具体案を考えることができる【D-2 Lv3】

## 単元の概要

2019年度における総合的な学習の時間のテーマは「金沢における空き家問題」である。紙面の関係上、町家を活用して金沢の体験プログラムを提供している株式会社こはくの山田滋彦社長（以下、山田社長）に、新たな体験プログラムを提案する単元について取り上げる。本単元は、山田社長に実際に事業化してもらうために、金沢町家でこれまで行っていない新たな金沢の体験プログラムの具体を考え、プレゼンすることを学習のゴールとしている。

## 活用番組・機能

- ・「しまった！」および「プロのプロセス」クリップ
- ・NHK for Schoolプレイリスト



## 活用のポイント

グループごとにプレゼンの構成を考え、資料を作成し、リハーサルを行う中で改善を繰り返していくが、単元後半部分になると進捗状況に少しずつ差が出てくる。そこで、必要に応じて番組を選択視聴できる環境を整えた。早く進んだグループは、NHK for Schoolのプレイリストにある動画を視聴する。アイドルとアナウンサーのプレゼン動画を見たグループは、「ジェスチャーを少し加えること」、「声を高くすること」が大切であるということに気づき、ノートにメモしていました。得られた気づきをもとに自分たちのプレゼンを改善し、何度も練習していました。その際には、「どの部分でジェスチャーを入れるといいかな」といった会話が見られた。

## タイトル：算数科におけるメディアリテラシー教育

## 単元名：数の表し方に秘められた意図は

## 教科：算数科・ 学年：6年

### 【育成するメディア創造力】

- ・ 製作物を見て、送り手がどのような意図で要素を構成したのか理解できる。(B-1 Lv5)
- ・ 製作物の適切さについて、批判的に判断することができる(B-3 Lv5)

### 【単元の概要】

担任学級ではない6年生のクラスで、1時間のみの単元として、メディアリテラシー教育を算数の教科教育の中に位置付けて行った。算数科としての関連指導事項は、単位換算と、割合である。同じ数値であっても、表し方が異なることで、どのような印象を与えるか考えさせたい。

メディアリテラシー教育として、キャッチコピーは送り手の意図をもとに、キャッチコピーが作成されていることを知り、キャッチコピーでどの程度までなら大袈裟に表現してもよいか、送り手としてだけでなく、受け手がどう感じるか等、多角的・多面的に考えることの大切さについて考えさせたい。

### 【活用番組】

メディアタイムズ (第3回 “心を動かす”キャッチコピー)

## メディア・リテラシー×算数科

Tシャツ 10%OFF	スカート 20%OFF	ニット帽 70%OFF	Tシャツ 20%OFF
シューズ 30%OFF	財布 20%OFF	ネクタイ 10%OFF	ソックス 10%OFF

全品セール対象  
最大 **70%OFF!!**

ほぼ10~30%OFFですが、  
ちょっとだけ70%OFFの  
商品もあります

### 【活用のポイント】

児童は生活の中で、キャッチコピーを様々な場面で目している。児童もよく知るCMを取り上げ、「栄養ドリンクのタウリン1000mg配合って、多い？少ない？」という問いかけ、普段、なぜその表現なのか、と改めて考える機会のなかった、キャッチコピーについて関心を高め、動画を視聴した。

視聴後、上記の例題を出し、どちらのキャッチコピーを載せるべきかを考えさせた。児童は互いに、「店長なら」「お客さんとしては」という議論を重ね、立場によって適切かどうかの判断基準は異なる、という結論を導き出していた。

# タイトル：視点の切り替えのための視聴

教科／学年：総合的な学習の時間／6年

単元名：地域の魅力を発信しよう！

## 育成するメディア創造力

- ・課題に対して、相手意識・目的意識を持って主体的に取り組むことができる【A-3Lv3】
- ・映像の目的や意図を様々な角度から読み取り、言葉や文章で表すことができる。【B-2Lv5】
- ・自他の考えを組み合わせながら、集団としての1つの考えにまとめることができる。【D-1Lv3】

## 単元の概要

本校がある学区内には、みかん農園や小豆島を見渡せる展望台など様々な魅力がある島々がある。こうした地域の魅力をより多くの観光客に見てもらいたいという思いから、本単元のゴールを、地域に多くの観光客が集まる「牡蠣祭り」で地域の魅力を発信することに設定している。本時では、地域の魅力を考える際に視点を切り替えることで、有名な観光スポットだけでなく、地元住民だからこそ分かる魅力を伝えられるようにしたいと考えた。

## 活用番組・機能

- ・『JAPANGLE』子どもや地域に関連がある放送回を選択「学校」「お寿司」「お菓子」「和室」



## 活用のポイント

番組内では、「デザイン」「ヒストリー」「テクニク」「スピリット」の4つのアングルで毎回一つの日本文化を観察している。この視点を真似たり、他のものを考えたりすることを通して、一つの物を多面的に見る力をつけることができる。また、当たり前ものの魅力を再発見するという視点の切り替えのためには、複数の番組内で共通する要素に気づく必要があると考えた。そこで、グループ内で分担したものを視聴し、それぞれの放送回のテーマに共通している情報を後でベン図で整理することにした。その後、児童が考えた「歴史」「職人技」「見た目」のキーワードをもとに、地域の魅力を改めて探す活動を展開していった。

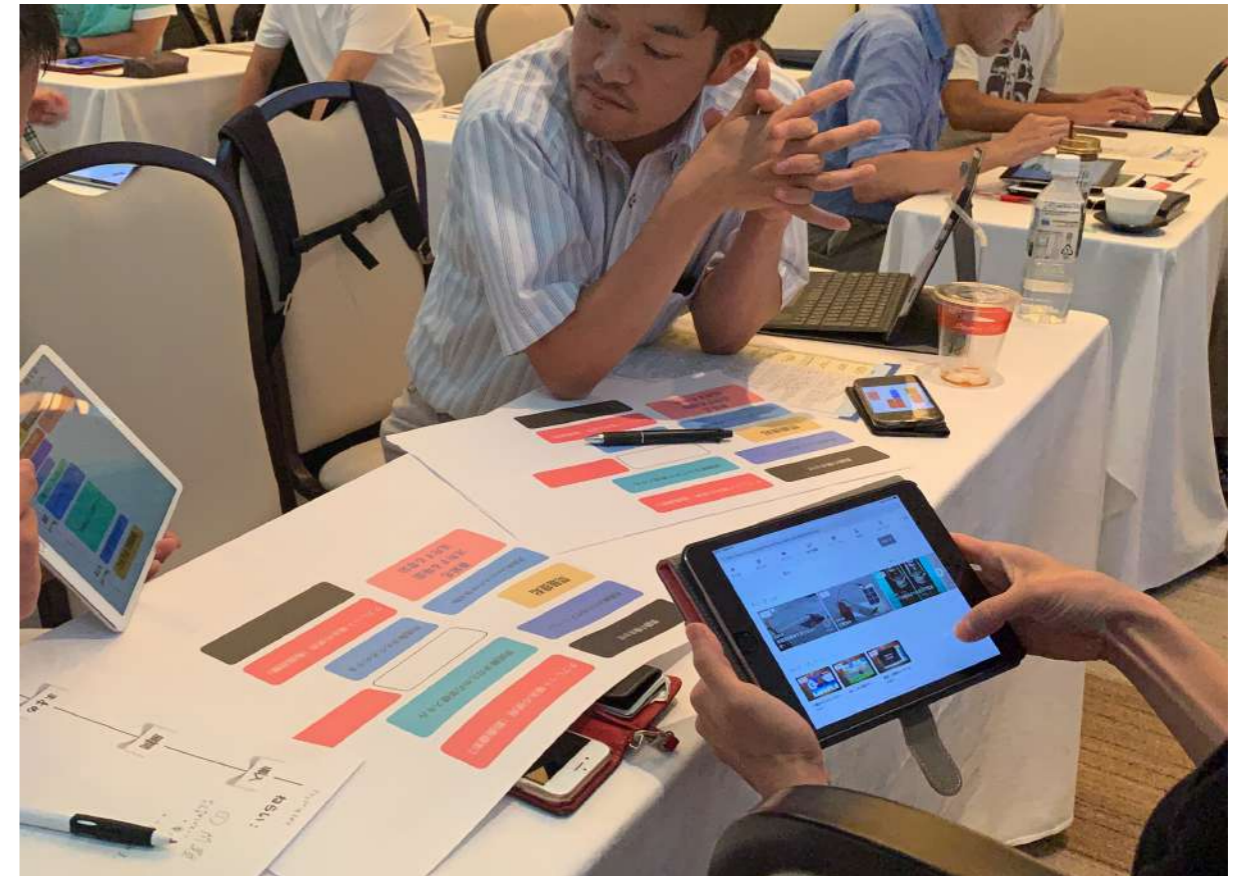
# タイトル 教員研修

## 教科・学年 特別支援教育に携わる教員

### 単元名 NHK for Schoolを用いた授業づくり

#### 研修の概要

- ① NHK for SchoolのWebサイトを概観する
- ② NHK for Schoolアプリの機能を概観する
- ③ 担当の児童生徒の実態についてペア・グループで交流する
- ④ 授業構想ワークシートを用いて授業の概要を構想する
- ⑤ 授業で用いる番組・クリップを収集する
- ⑥ 授業構想ワークシートに具体的な学習内容等を記入して授業のイメージを高めていく
- ⑦ ペア・グループで構想した授業について交流する
- ⑧ ペア・グループで授業についてコメントしてブラッシュアップする



#### 活用のポイント

メディア創造力の理解をもとに、「タブレット端末の機動性を生かして授業の中でいかに個の学びに応じて視聴等を設定することができるか」、「繰り返し視聴や分断視聴、一斉視聴と視聴のタイプと学習の流れ、思考の流れをイメージして学習を設定することができるかどうか」を考慮しながら、研修を行った。